（記入例）　　（様式１－Ａ）

2025年度　業績優秀者返還免除申請書

両面印刷

西暦　2026 年　2 月　1 日

独立行政法人日本学生支援機構理事長殿

私は以下について承知したうえで、特に優れた業績による返還免除を申請します。なお、本申請書記載内容に相違はありません。
・免除認定を受けた場合、認定後に日本学生支援機構が行う特に優れた業績による返還免除
　することに同意します。
・（2023年度以降に博士（後期）課程及び博士医・歯・薬・獣医学課程において第一種奨学
　国立研究開発法人科学技術振興機構（ＪＳＴ）が実施する「科学技術イノベーション創出
　創設事業」又は「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」又は「国家戦略分野の
　課程学生の育成事業（BOOST）次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」の
　免除が取り消されることを承知しています。

旧姓があり、旧姓で表記されている業績がある場合は、「機構（奨学）太郎」のように、旧姓を（　）書きしてください。

フリガナ　キコウ　タロウ
氏　　名　機構　太郎

一貫制博士課程に在籍している場合、1～2年生は修士課程、3～5年生は博士後期課程にチェックを付けてください。

大学院名	JASSO大				
課程（該当の課程の□を■にしてください）	□ 修士（博士前期）課程	□ 専門職学位課程	■ 博士（博士後期）課程		
	工学研究科情報工学専攻		学籍番号	9999999	
	2 3 0 6 9 9 9 9 9 9		生年月日	西暦 1988 年 4 月 5 日	

返還免除内定者の方は、必ずチェックしてください。

□　上記で選択した課程において　　合のみ、□を■にしてください。

↓専攻分野に関わらず必ず記入してください。
枠の拡大はできませんので、必ず枠内に収まる

大学院における研究課題等

概要　～～～。

「修士課程の早期修了が認定されている（修士のみ）」、または「在学中に博士の学位を取得した、もしくは、年度内に取得予定（早期修了を含む）（博士・一貫制博士のみ）」を業績とする場合は、「学位論文」の欄に、修士課程の早期修了が認定されている/在学中に博士学位を取得した/年度内に博士学位を取得予定である旨を記載してください。

「機構に提出」欄は学内で使用しますので何も記入しないでください。
なお、博士課程の学生は、ガイドラインを満たしている業績の資料を必ず１点提出する必要があります。返還免除内定者を除き、「学位論文その他の研究論文」の提出は必須です。

業績
（1　書かれた資料番号を付記し
　当者が使用します。）
（2　の挿入により、表の形式

【業績項番】ー【枝番】にするとどの項目の何番目の資料かわかりやすくなります。

			業績の種類			資料番号	機構に提出
1	学位論文その他研究論文	学位論文	必要項目：①申請者名　②論文タイトル 例：①機構太郎　②「（論文タイトル）」			1-1	
		研究論文	査読付き原著論文	受賞・表彰	※査読付き原著論文の有無、論文・学会で受賞・表彰は左欄に○を記載してください。 必要項目：①申請者名（著者名、共著者名）②論文タイトル③論文内容の概要④学術雑誌等名⑤学術雑誌発行年		
			○		例：①機構太郎　②「（論文タイトル）」 ③資料1-2参照　④「令和7年度○○学会誌」⑤2025年	1-2	
			○		例：①機構太郎、奨学花子　②「（論文タイトル）」　③資料1-3参照　④「令和8年度○○学会誌」、⑤2026年３月（予定）	1-3	
		学会での発表			必要項目：①申請者名（発表者名、共同発表者名）②題目③会議名④発表年⑤表彰、受賞等		
					例：①機構　太郎　②「（題目）」　③令和６年度○○学会定例会④2024年　⑤表彰、受賞なし	1-4	
				○	例：①機構　太郎　②「（題目）」　③令和７年度○○学会定例会④2025年　⑤優秀ポスター賞	1-5	
		日本学術振興会の特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退	必要項目：①申請者名　②年度　③特別研究員採用又は競争的資金獲得情報 例：①機構太郎　②2025年　③特別研究員採用				

※論文及び学会での発表により機構以外の給付奨学金や外部資金を獲得した場合は、「研究論文」又は「学会での発表」の欄に記入し、「受賞・表彰」欄に○をつけください。

両面印刷

（様式１ - A）

	業績の種類		資料番号	機構に提出
2	大学院設置基準第１６条に定める特定の課題についての研究の成果	※修士課程の学生のみ対象 基幹・創造・先進理工学研究科は当要件には該当しないため記入不要		
3	大学院設置基準第１６条の２に定める試験及び審査の結果	※修士課程の学生のみ対象 基幹・創造・先進理工学研究科は当要件には該当しないため記入不要		
4	（専攻分野に関連した）著書、データベースその他の著作物（1及び2に掲げるものを除く）	必要項目：①申請者名　②著書、データベース等のタイトル　③著書、データベース等の概要　④発行年 例：①機構太郎　②「（タイトル）」　③資料参照　④2026年 ※特許登録済、特許出願中、実用新案登録済及び実用新案出願中の区分を記載し、発明（考案）者名、出願番号、出願日、特許番号、実用新案番号、登録日等を記載してください。団体での出願の場合は、申請者名が確認できるものが必要です。		
5	（専攻分野に関連した）発明	必要項目：①申請者名（発明（考案）者名）　②特許等の出願日あるいは認定日　③特許等の出願時あるいは登録時に付与される番号 例：①機構太郎　②登録日　2026年X月X日 ③特許番号　XXXXXXX 出願番号の例：2026-123456、特願令07-123456 登録番号の例：特許　第1234567号		
6	（専攻分野に関連した）授業科目の成績	必要項目：①申請者名　②成績の詳細　③年度 例：①機構太郎　②資料6-1参照　③2024年～2026年 【対象：修士課程のみ】 対象業績「対象業績一覧：業績の種類６」として成績を出す場合のみ、GPA証明書（原本：成績証明書は受付不可）を提出し、本表にも記載してください。業績として出さない場合は記入不要です。		
7	（専攻分野に関連した）研究又は教育に係る補助業務の実績	必要項目：①申請者名　②研究プロジェクト名あるいは授業名　③年度 例：①機構太郎 ②「情報工学基礎Ｉ」でティーチング・アシスタントを担当 ③2025年 例：①機構太郎 ②奨学大学〇〇研究室の「（プロジェクト名）」において リサーチ・アシスタントを担当。 ③2025年～2026年 ※複数の期間にわたって同様の補助業務を行っているが、複数の期間でも 一期間でもひとつの業績として評価される場合は、一期間の業績のみに してください。複数の期間の記載及び資料の添付は不要です。	7-1	
8	（専攻分野に関連した）音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	基幹・創造・先進理工学研究科		
9	（専攻分野に関連した）スポーツの競技会における成績	基幹・創造・先進理工学研究科は当要件には該当しないため記入不要		
10	（専攻分野に関連した）ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績（公益の増進に寄与した研究業績）	基幹・創造・先進理工学研究科は当要件には該当しないため記入不要		